

拾華会

125年間の歩み

M (明治) 33～45年…13年間

T (大正) 02～15年…14年間

S (昭和) 02～64年…63年間

H (平成) 02～31年…30年間

R (令和) 02～06年…05年間

R07.10.18

記念祝賀会実行委員会作成



明治時代_{M33年～}

～教育の夜明け、教育制度の確立～

『昭和59年度拾華会総会資料』から抜粋

拾 華 会 考

梅津 正雄

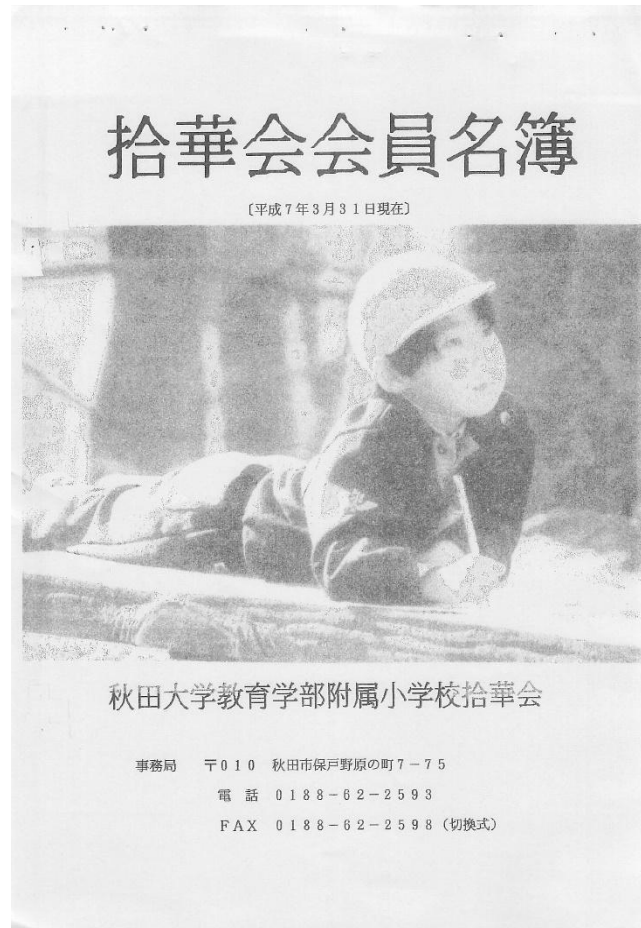
会の発祥

昭和51年6月12日に発行された拾華会会員名簿によると、会員No.1として八代久太郎氏（在職期間：明治33.3～明治45.8）を筆頭にして、以下年次順に代々の会員氏名が記され、その一番終わりはこの名簿発行年の現職員惣田幸子さんがNo.284として載っている。これによって拾華会は、明治33年に始まったという推定が成り立つ。明治33年は昭和58年の現在から逆算すると83年前のことになる。つまりそのときの附属小学校の職員の上席教員は八代久太郎氏（秋師 明治30年卒）で拾華会員の第一号となったのである。

また、附属小学校は明治7年の大平学校の附属校から始まっているから、拾華会の組織された明治33年から、26年も前にさかのぼる。

会名称の由来

「拾華会会員名簿」 H07.03.31 から



【校長・主事の部】

No.	氏名	在籍期間
1	誉田義英	M22-23
2	檜山栄次	M24-
3	鈴木誠太郎	M25-
4	佐藤孫六	M26-29
5	小山忠雄	M30-32
6	和田喜八郎	M33-35
・	・	・
・	・	・
・	・	・
36	佐々木久春	H02-05
37	後藤恒允	現職

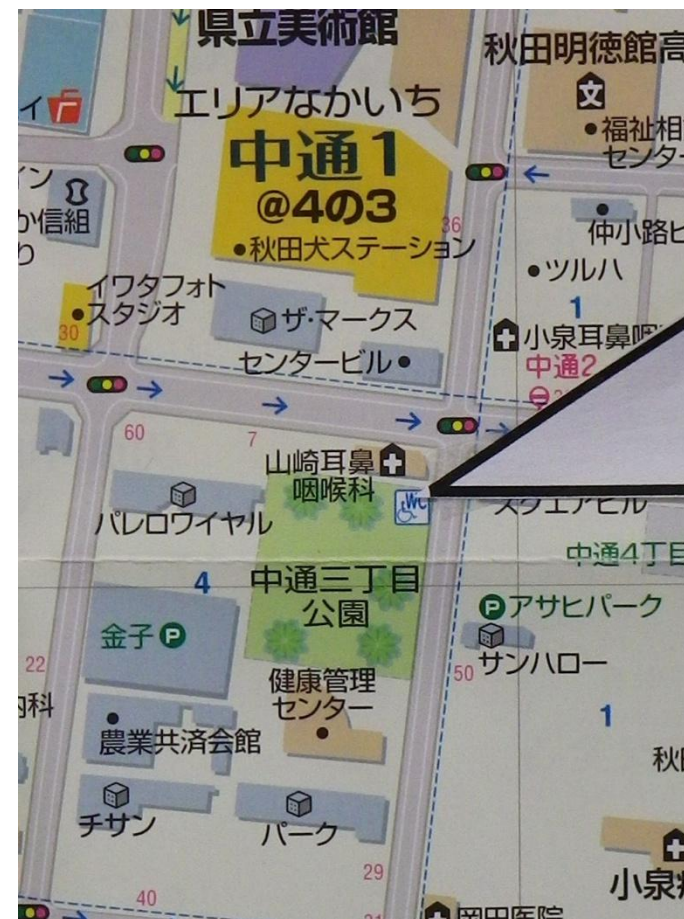
【会員の部】

No.	氏名	在籍期間
1	八代久太郎	M33-45
2	有明トク	M42-42
3	斎藤トミ	M42-43
4	杉野祐毅	M42-43
5	柳原勘次郎	M42-43
6	鈴木銀作	M42-45
・	・	・
・	・	・
・	・	・
409	藤原清美	現職
410	佐藤博巳	現職



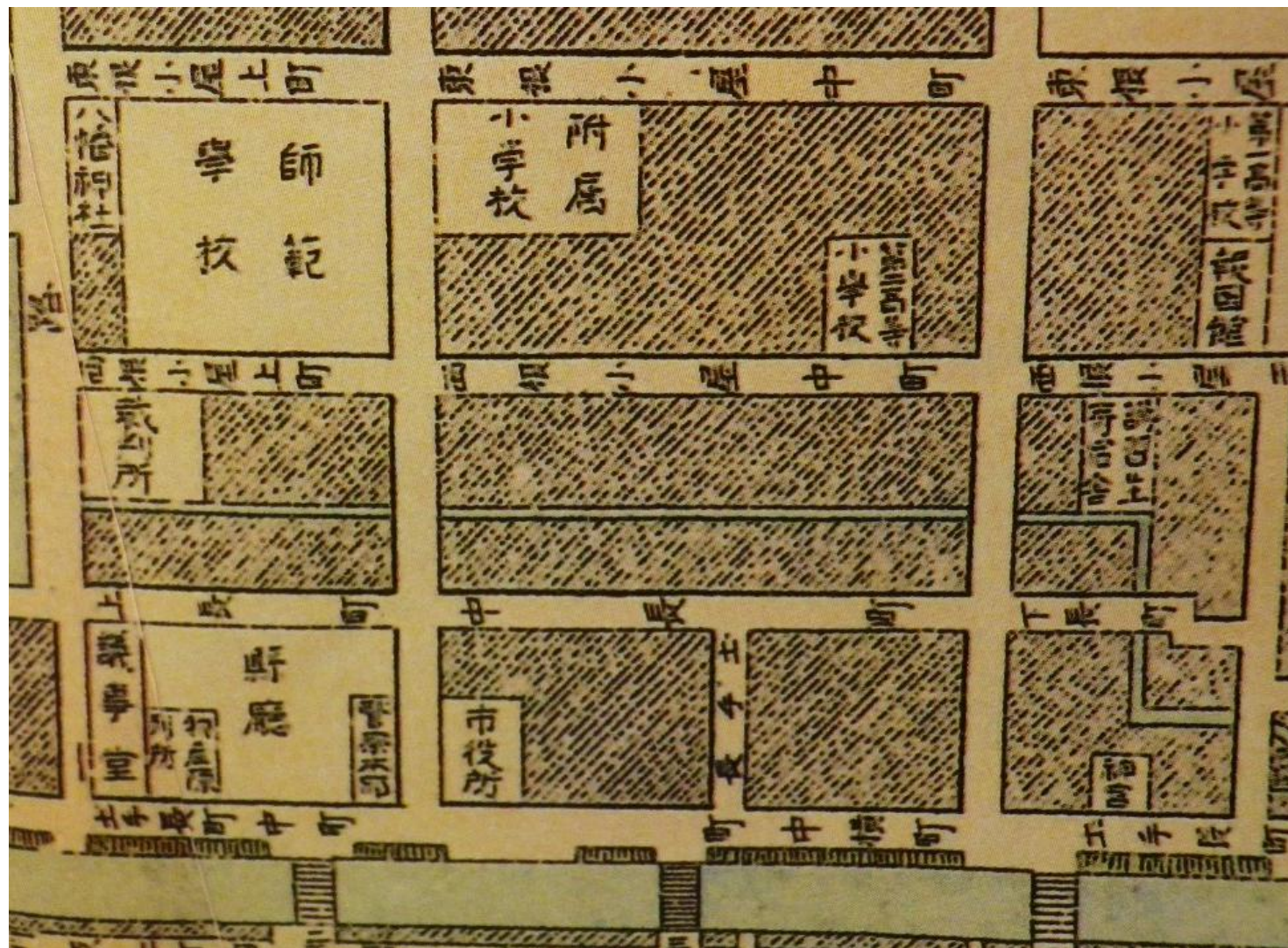


拾華会の始まりは、ここ！



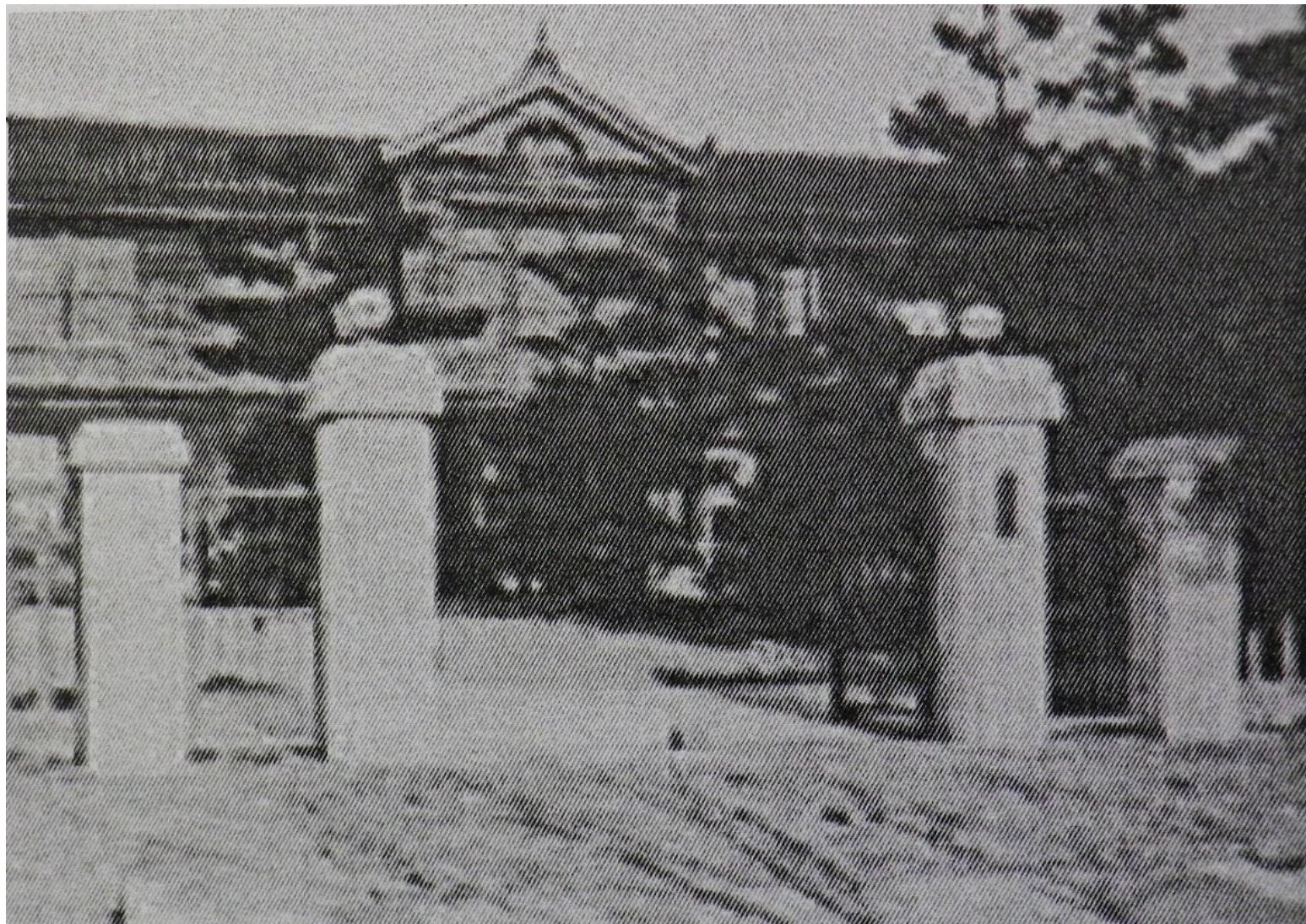


明治時代の地図(現在の秋田市中通周辺)





明治時代の写真（附属小学校校舎）





大正時代

～個性尊重、自由主義教育～



大正の年
明德小学校
卒業記念写真



大正5年3月明德小学校尋常科卒業記念
当時明德小学校は師範学校の代用付属小学校だったため
教育実習生(学生服)も一緒に写真におさまっている



昭和時代

～新たな学校教育制度の確立～



戦前\昭和10年代の地図(秋田市内)



●校名に注目



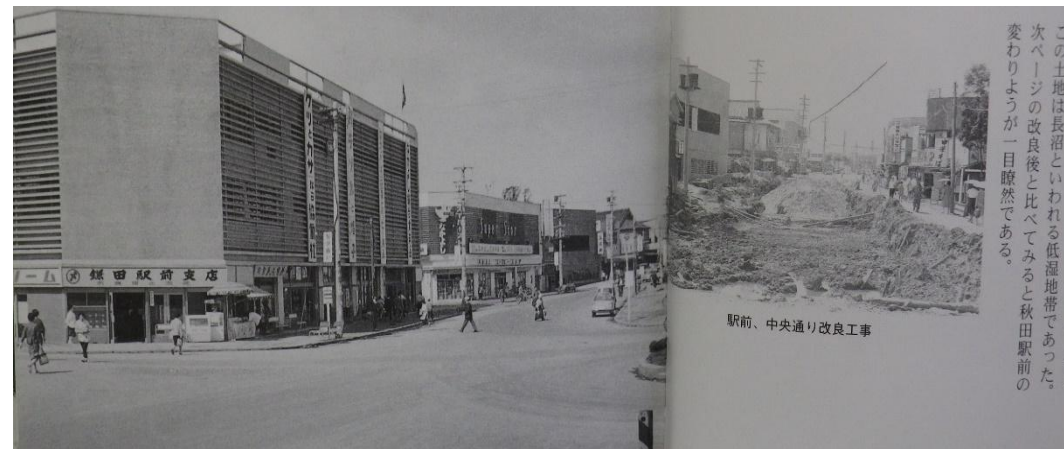
女子附属小学校



戦後\昭和の復興と発展



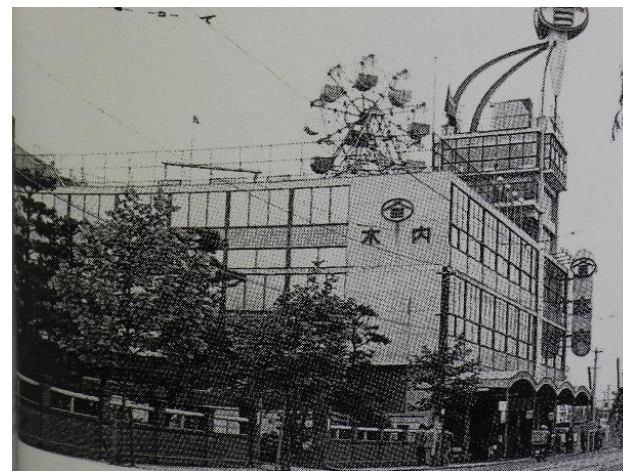
S36年(1961)秋田国体の開催



国体に向けた道路等の整備拡張工事



繁華街Ⅰ



繁華街Ⅱ



拾華会の歌

大友康二先生 在職期間：S29.4～S39.3

大守崇男先生 在職期間：S25.4～S39.3

拾華会の歌

作詞 大友 康二

作曲 大守 崇男

逢いみるを ともに祝わん

銀杏散る 校庭につどいて

拾華会

華（花）をたずねん

心こめ 愛せし日々の

そのゆくえ ともに語りて

拾華会

花を拾わん

めぐる世に 移ろいあれど

ひとすじの 真理変わらず

拾華会

花に捧げん

きょうの日を ともに讃えて

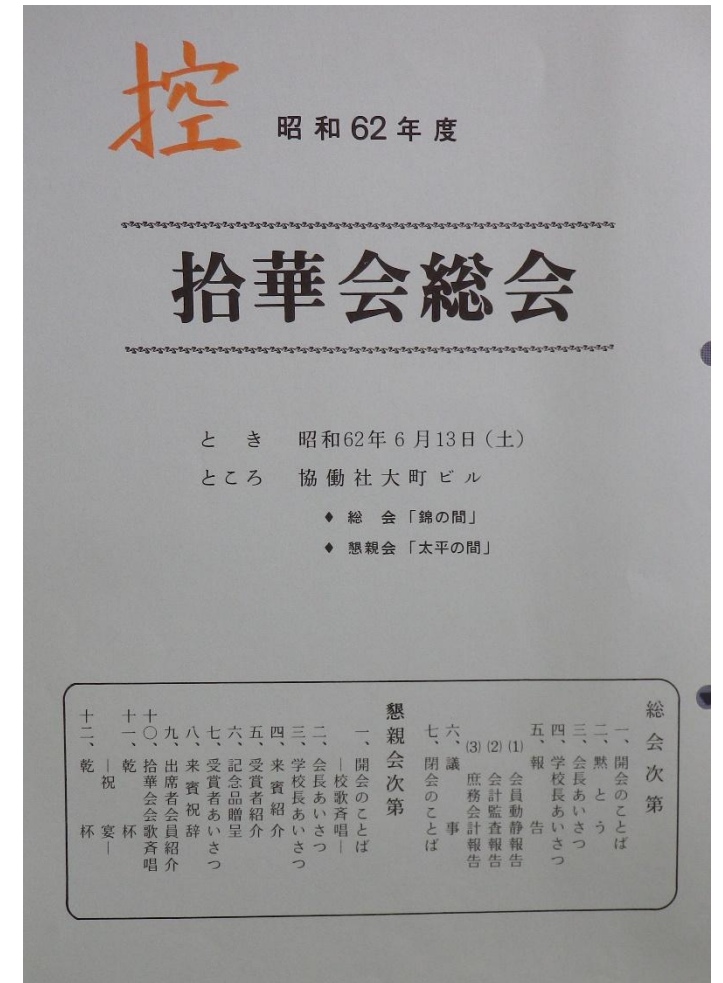
また逢わん やがて来る日に

拾華会

花を愛さん



拾華会総会 懇親会 (S 61年62年頃)





平成時代

～社会の変化に対応する「生きる力」の育成～



S

H

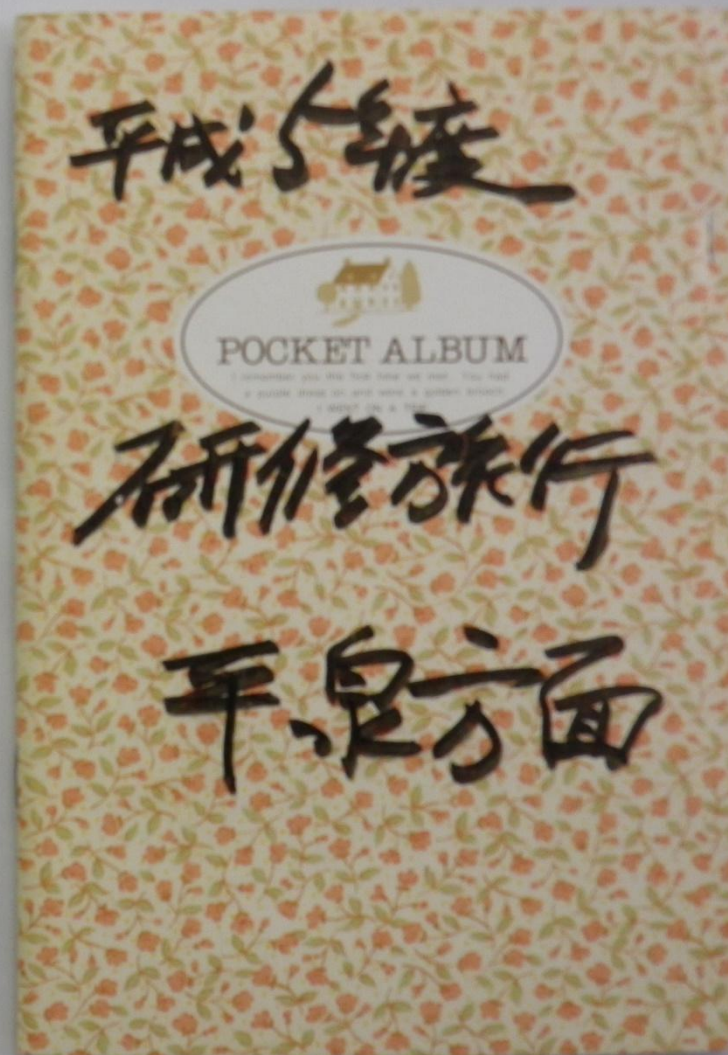
昭和
〜
平成

保戸野校舎



平成

職員研修旅行



平成20年度

拾華会総会

と き 平成20年6月21日(土)

ところ 第一会館 本館

秋田市大町5丁目4-28
TEL 018-864-1166

◇総 会 3階 藤の間 午後2時00分～

◇懇親会 3階 梅の間 午後2時30分～

総会次第

- 一 開会の言葉
 - 二 黙とう
 - 三 会長あいさつ
 - 四 報告
 - (一) 会員の動静
 - (二) 庶務・会計報告
 - (三) 会計監査報告
 - 五 議事
 - (一) 役員改選について
 - (二) その他
 - 六 新旧役員あいさつ
 - 七 閉会の言葉
- ## 懇親会次第
- 一 開会の言葉
 - 二 校歌斉唱
 - 三 会長あいさつ
 - 四 校長あいさつ
 - 五 転入者紹介
 - 六 受賞者紹介
 - 七 来賓紹介
 - 八 来賓祝辞
 - 九 拾華会の歌斉唱
 - 十 乾杯
 - 十一 祝宴
 - 十二 閉会の言葉



平成20年度 拾華会総会資料



令和時代

～目には見えない（見えにくい）ものと向き合う時代～

拾華会 創立125周年「実施計画」

準備委員会

※ 担当分担表

担当委員会	総務委員会	式典実行委員会	記念誌編集委員会
構成委員	◎ 佐藤俊彦（副） 全体調整 ◆ 京野 真樹（副校長） ★芳賀龍平（顧） 式典相談 ★相場郁子（長） 記念誌相談	◎ 大島博子（副） ○ 越中谷俊悦（理） ◇ 佐藤敬子（理） ◇ 清澤桂子（理） ◆ 保坂 茂（教頭） <125周年記念式典> 期日：令和7年10月18日（土） 会場：イヤタカ	◎ 濱田 純（理）→印刷所との折衝 ○ 柴田文平（幹） ○ 柴田 彰（理） ◇ 津谷ゆき子 ◇ 濱松 寿（幹） ◇ 湊 弘一（幹） ◆ 菅野宣衛（教務）

◎主担当、○副担当、◇委員、◆学校側窓口委員 ※ 拾華会役員の記号：（長）会長、（副）副会長、（理）理事、（監）監事、（幹）幹事、（順不同）

※ 各委員会作業日程

①原案作成 提案は総会で 8月27日 14:00 附小 10月12日 12:30 イヤタカ	※全体進行確認	○企画：「総会」と兼ねて行うが、どのように？ （時間的な問題、会場など） 来賓は、どうするか？（大学・学部など）	◇ 編集方針（前年度総会にて提案）に基づき、 原稿依頼の範囲を確認。 ◇ ベースになる年表部分の執筆作業に入る（編集委員）
②作業日（発送） ◆ 月 案内状・依頼状	※全体進行確認	○「式次第」を固める	◇「原稿依頼」発送 （趣旨、原稿の字数、提出期限など）
③確認日 ◆ 月上旬 ＊記念誌原稿締切（→印刷屋へ）	※全体進行確認	○記念誌へ掲載するもの（たとえば式次第）の 原稿を完成し、編集委員会へ提出する	◇編集作業（原稿を確認し、割り付け） ◇印刷屋に原稿を渡す（色やデザイン等の相談）
④直前（最終確認） ◆ 月	※全体進行確認	○4月案内状を作成し、来賓・拾華会の会員へ 発送する（→出席者の確認・座席表作成）	◇4月完成をめざし、校正計画を立てる。 4月○日（理事会）、最終確認を行い印刷・製本。

R6.4.25 拾華会理事会において決定

令和6年度総会資料から
当初の「実施計画」

【再確認】

拾華会の目的とは？

『拾華会規約』第3条

拾 華 会 規 約

第1条 この会を拾華会と称し、事務局を秋田大学教育文化学部附属小学校におく。

第2条 この会は、秋田大学教育文化学部附属小学校ならびに、秋田大学教育学部附属小学校、旧秋田県女子師範学校、秋田師範学校女子部附属小学校（当時の附属幼稚園も含む）の現職員および旧職員をもって組織する。

第3条 この会は、附属小学校の発展と会員相互の親交をはかることを目的とする。

拾華会会員の想い&願い

- 「一人一人」を大切に。
- 「授業」を大切に。
- 「同僚、学校組織」を大切に。
- 「教育的愛情」が全ての土台

【参考文献】

1. 『思い出のアルバム秋田市』 無明舎出版，1984年
2. 『秋田県民100年史』 無明舎出版，1986年
3. 渡部景一 『秋田市歴史地図』 無明舎出版，1984年
4. 『秋田国体栄光の記録』 秋田魁新報社，1961年
5. 越前谷国治 『40年前の秋田市』 無明舎出版2003年